

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

第1回 医事・衛生専門委員会 結果概要

1 日 時

令和2年10月28日（水） 13：55～14：40

2 場 所

県庁東棟5階中会議室

3 出欠状況

出席者 8名（代理出席2名）

欠席者 3名（奥村委員、若松委員、館委員）

4 議事概要

（1）委員長・副委員長報告

委員長を中村渉委員に、副委員長を畑中和紀委員に委嘱したことを報告。

（2）説明・報告事項

① 国民スポーツ大会の概要について

事務局から説明。質疑等は以下のとおり。

【中村委員長】

県外開催競技の医事・衛生関係業務は、当専門委員会で検討することになるのか。

【事務局】

県外開催競技については、県外及び本県の競技団体・行政関係者などで構成する専門委員会で検討していくことになるため、当専門委員会で議論することはない。

② 医事・衛生専門委員会について

事務局から説明。質疑等は以下のとおり。

【工藤委員】

医事・衛生専門委員会のなかにアスレチックトレーナー、スポーツドクターの代表が入っていない。国スポの医療救護等を検討していくなかで、専門家として意見を伺うことが必要ではないか。

【事務局】

中村委員長もスポーツドクターであり、知見を活用した検討が可能と考えている。

また、県準備委員会に競技運営専門委員会があり、岡村良久委員長は青森県スポーツドク

ターの会の会長でもある。各競技会でもアスレチックトレーナー、スポーツドクターの配置等を検討する必要がある、競技運営専門委員会と当委員会が連携し、各市町村がつくる医療救護マニュアルとの整合性を図るなどして進めていく。

【齋藤委員（代理：立花所長）】

感染・防疫対策について、今発生している新型コロナウイルス感染症が、開催する6年後どのような状況になっているのか推測ができない。状況によって、感染対策はかなり異なってくると想定される。今後、基本計画を策定する際に、柔軟性のある計画としていくことが必要である。

【事務局】

来年開催の三重県では、コロナ禍での国体をどうするべきか、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの策定などを行うと聞いている。今後、三重県や栃木県の取組に関する情報、本県の危機管理局の情報等も確認しながら、柔軟な対応をしていけるように調整していきたい。

【齋藤委員（代理：立花所長）】

全く予期していない感染症が新たに発生する可能性もある。よろしく願いたい。

③ 「いきいき茨城ゆめ国体」の医事・衛生関係業の概要について

事務局から説明。質疑等は以下のとおり。

【工藤委員】

茨城国体の規模だが、概ね国体はこの程度の規模になるのか。

【事務局】

参加者の規模はだいたいこの程度である。

【工藤委員】

来年の三重県の実施状況について、救護所の配置人数や処置人数、どのような状況だったのかを調べて情報提供してほしい。

【事務局】

次回専門委員会において報告したい。

（３）審議事項

第80回国民スポーツ大会医事・衛生基本方針（案）について、事務局から説明。
原案どおり可決。

（４）その他

- ① 今後の国民スポーツ大会開催準備スケジュールについて
- ② 第80回国民スポーツ大会イメージソング等について
- ③ 三重とこわか国体の新型コロナウイルス対策の状況について

事務局から説明。質疑等は以下のとおり。

【中村委員長】

三重県は総合開会式を大幅に縮小するようだが、式典の縮小化はいつ頃決定するのか。

【事務局】

日本スポーツ協会に確認したところ、新型コロナウイルス感染症の状況が見えないなか、来年実施の三重県は新しい取組、規模縮小で進めている。次の栃木県、鹿児島県は従来規模との両にらみで進めているようだ。日本スポーツ協会の意向としては、規模の縮小はコロナ禍での対応であり、2024年開催の佐賀県以降については通常規模の国体に戻したい様子。本県としては、先催県の状況を確認し、コロナがどうなるのかを見極めながら、感染症対策として良いものは取り入れて柔軟に対応していきたいと考えている。

【中村委員長】

国体におけるドーピング対策はどのようなになっているのか。

【事務局】

国体でもドーピング防止対策は実施されており、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）から、競技会場に必ず検査スペースを準備してほしいと言われており、準備作業を進めているところ。開催3年前の視察で検査場所等の状況確認が行われる。競技開催期間中はJADAが来て検査も全部行うと聞いている。

【齋藤武委員】

ドーピング検査に関しては、現在、JADAホームページに検査対象となりえる大会が記載されている。そこに毎年国体の記載があるので検査はあると考えてよいだろう。JADAも毎年最低5,000件以上の検査を目標として行っているので、今後、国体での検査数が減るという事はないと考えられる。

【中村委員長】

栄養ドリンク剤に禁止薬物が入っていることもあるので注意が必要。食品衛生とあわせて対策を検討していければよい。